

議会だより

うれしの

新しい議会構成が決まる 2 P

22年度の議案を審議 4 P

一般質問に16人 14 P

第17号

2月臨時議会
3月定例議会

平成22年4月20日発行

桜の下で新茶の香り（轟公園）

3

議会だより うれしの NO.17 2010年4月20日

新しい議会が



田中 平一郎



山口 要


園田 浩之
(委員長)


山口 忠孝



神近 勝彦


平野 昭義
(副委員長)


辻 浩一



梶原 睦也


織田 菊男
(委員長)


田口 好秋



小田 寛之


西村 信夫
(副委員長)

委員長 神近 勝彦
副委員長 梶原 睦也
園田 浩之
田中 政司
織田 菊男
副委員長 大島 恒典

文教厚生常任委員会

福祉課、健康づくり課、こども課、学校教育課、社会教育課を担当します。

委員長 園田 浩之
副委員長 平野 昭義
委員 山口 要、神近 勝彦、田中 平一郎、山口 忠孝

産業建設常任委員会

農林課、産業建設課、建設課、環境下水道課、農業委員会、水道課を担当します。

委員長 織田 菊男
副委員長 西村 信夫
委員 梶原 睦也、小田 寛之、辻 浩一、田口 好秋

議会運営委員会

議長の諮問に関することや議会の運営について担当します。

議会だより うれしの

2

始動

臨時議会


副議長に
田口 好秋氏
63歳
宮ノ元

議長に
太田 重喜氏
66歳
下岩屋


山下 芳郎



副島 孝裕


田中 政司
(委員長)


太田 重喜



山口 政人


大島 恒典
(副委員長)

1月31日におこなわれた、市議会議員選挙によって、現職13人、新人5人による、新たな議会が誕生しました。それにもない、2月8日に臨時議会が召集され、議席の決定後、議長、副議長の選挙、常任委員会委員の選任ならびに委員長、副委員長選出、監査委員の同意などが提案され新しい議会が動きだしました。

正・副議長選挙を 実施

総務企画常任委員会

総務課、財政課、企画課、企業誘致課、地域づくり課、市民税務課、新幹線整備課、古湯温泉課、会計課、観光商工課、議会事務局、選挙管理委員会、監査事務局を担当します。

委員長 田中 政司
副委員長 大島 恒典
委員 副島 孝裕、山口 政人、山下 芳郎、太田 重喜

5

議会だより うれしの NO.17 2010年4月20日

収入が減っていく

平成22年 3月定例議会

8億円 先食いして 112億9800万円 を予算化

平成22年第1回定例会が、3月5日に召集され、21日間の日程で開催されました。

22年度一般会計予算をはじめ、国民健康保険など9つの特別会計予算、21年度の補正予算、定住促進条例の一部を改正する条例などを

30議案が提案され、慎重な審議の結果賛成多数で可決されました。(賛否表はP13)

議員発議による国への意見書4件を可決しました。(P12)

一般質問には、16名が3日間にわたり市政を質しました。

22年度歳出内訳

義務的経費	56億1,469万円	49.7%
扶助費(生活保護費や子ども手当など)	26億2,041万円	23.2%
人件費	19億5,653万円	17.3%
特別会計へ繰り出し金	18億3,633万円	16.3%
補助費など	14億5,554万円	12.9%
物件費(し尿処理やごみ処理の委託金など)	16億5,137万円	14.6%
公債費(借金の返済金)	10億3,772万円	9.2%
普通建設事業費	3億8,590万円	3.4%
投資的経費	4億1,279万円	3.6%
災害復旧事業費	2,690万円	0.2%
維持補修費	2,230万円	0.2%
貸付・投資金など	1億7,604万円	1.6%
積立金	8,726万円	0.8%
予備費	4,235万円	0.2%

22年度歳入内訳

自主財源	32億8,576万円	29%
地方交付税	41億3,700万円	36.6%
国・県からの補助金	25億3,681万円	22.5%
市債(借り入れ金)	9億1,483万円	8.1%
市税	24億4,068万円	21.6%
国からの交付金	3億8,390万円	3.4%
地方特例交付金	3,970万円	0.4%
使用料及び手数料	2億6,993万円	2.4%
分担金及び負担金	1億8,890万円	1.7%
その他収入	3億8,628万円	3.4%

21年度歳入内訳

自主財源	38億7,260万円	34.7%
地方交付税	40億3,000万円	36.1%
国・県からの補助金	18億4,729万円	16.5%
市債(借り入れ金)	9億8,890万円	8.9%
市税	24億9,042万円	22.3%
国からの交付金	4億730万円	3.6%
地方特例交付金	1,691万円	0.2%
使用料及び手数料	2億7,596万円	2.5%
分担金及び負担金	1億8,727万円	1.7%
その他収入	9億1,895万円	8.2%

前年度と比較すると個人・法人税は2、902万円、たばこ税は2、130万円、入湯税は421万円、また国税の一部から交付される消費税、自動車取得税も2、750万円減収するものと見込まれています。

このように地方の自主財源が厳しい状況にあるため、国から地方に配る交付税が増額され、本市においても1億700万円増額の41億3、700万円を見込んでいます。

しかし、今後は国の財源も国債に頼る状況のなかで、地方に配分される交付税が減少されることも予想されます。

逼迫する財政運営のなかで22年度の予算については、一般会計総額112億9、800万円計上されましたが、国があとで補填する市の借入金金を8億1、012万円予算化することで収支がまかなわれています。

今後は、年々増加する福祉予算や小学校改築費用など大きな支出が予想されるため、国や県の補助事業を選択しながら、市の持ち出し金が少なくなるよう努力しなければなりません。

また、市が所有する土地や建物のさらなる有効利用や自主運営できるような指定管理者制度への移行など、健全運営が望まれる、新たな施設を建設する際は、維持管理費を十分考慮した計画が求められます。

平成22年度 当初予算会計別総括表 (単位: 千円)

会計名	平成22年度 当初予算	平成21年度 当初予算	増減額
一般会計	11,298,000	11,163,000	135,000
特別会計			
国民健康保険	4,072,455	4,003,672	68,783
老人保健	1,295	15,316	14,021
後期高齢者医療	301,435	332,838	31,403
農業集落排水事業費	819,386	1,112,381	292,995
公共下水道事業費	277,625	365,596	87,971
嬉野第七土地区画整理事業	283,391	342,694	59,303
嬉野第八土地区画整理事業	169,522	212,732	43,210
嬉野温泉公衆浴場施設	54,195	0	54,195
小計	5,979,304	6,385,229	405,925
水道事業			
収益的支出	708,366	731,423	23,057
資本的支出	268,811	525,741	256,930

貯金は? 借金は?

市の財政を一般家庭にたとえると、貯金として、基金や積立金をおこなっています。

本市においては、一般財源に使うことができる「財政調整基金」9億3、154万円をはじめ、11項目の基金、積立金が、総額36億6、931万円あります。

しかし、一般会計の借金は、22年3月末現在で58億6、363万円、公共下水道事業など特別会計を含む全体の借金は、89億2、026万円となり、市民一人当たりの借金は、約30万6、770円となります。

増えるか定住人口

条例の一部を改正

嬉野市の人口は、全国的にもみられるように減少の一途をたどっています。

そこで嬉野市外からの定住人口を増やす目的で、平成20年度に「転入奨励金制度」が実施され、現在までに佐賀県内外から87名の方が転入されています。

また21年度には、市内にお住まいの方が、新たに新築されるか、中古住宅を購入されるときに奨励金が交付される「持ち家奨励金制度」が付け加えられ、22年の3月までに、この制度を利用して転居された方は12件に上っています。

今回、この持ち家奨励



少しずつ家屋が増えている第八土地区画地域

金制度の一部が改正されることになりました。

「持ち家奨励金制度」には「宅地の取得」が条件づけられていましたが、「転入奨励金制度」には、その条件を付していなかったため、不公平が生じていました。

そこで今回、宅地取得要件をはずすことにより要件の統一をはかりました。

また「現に居住している同一敷地外」という文言が入り、家の建て替えは対象となりません。

着実に利用者が増えている条例ではありますが、さらに広報などをおこない、自治体の基礎体力ともいえる定住人口が増えていくことを期待します。

市内の雇用対策を急げ

今年度も緊急雇用対策として総事業費1億8、868万円、継続・新規あわせて25事業に76人分の予算が計上されました。

雇用期間としては1年（6ヶ月切替含む）で、直接雇用と委託雇用があります。

主なものとしては、小中学校生活総合支援事業などに16人、林道環境保全事業などに12人となっています。

また、新規として、モ



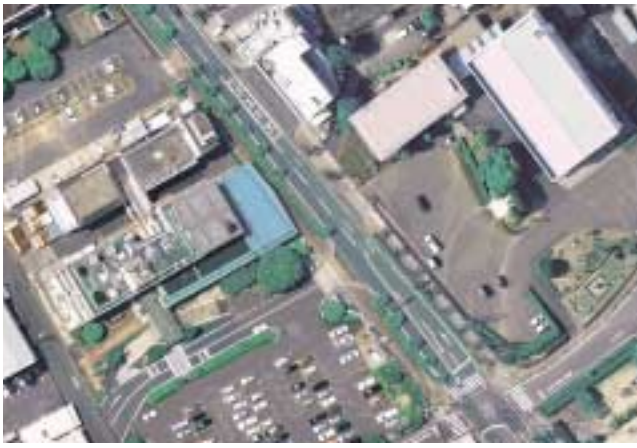
緊急雇用で、市道、林道の維持管理が進められます。

ノづくり人材育成支援事業（モノづくりの事業所へ紹介委託）に6人、若年層人事レベルアップ支援事業（事務系事業所へ紹介委託）に5人となっており、この2事業は高校・大学新卒か22歳以下が対象で、資格取得や技術力の向上をはかることにより、次の就職への可能性を高めることが目的の事業となっています。

ハローワークなどで募集となりますので、多くの皆様方が活用されることを望まれます。

しかし、今回については国からの補助金で個人雇用の費用をみるため、企業の負担は少なくなりますが、1年後にはこの制度がなくなり、この制度を利用された方の就業がどうなるのか、という不安もあります。

土地や家屋を空からチェック



上空から見た総合支所附近

3年ごとに土地・家屋の評価替の資料とするために、航空写真撮影をおこないます。

土地・家屋を正確に把握することで課税の適正化及び課税事務の効率化をはかって納税者の信頼を得るものです。

3年前は近隣市町と同でおこないましたが、今回、撮影時期・財政状況などで連携ができず、市の単独事業となりました。

携が必要だと思えます。

また総務常任委員会では、市民の方が山林などの状況を見るとき、字図だけでは、土地の状況を把握するのがきわめて困難で、この航空写真（現在未交付）と重ね合わせることに、土地の境界や状況がわかりやすいため、字図同様の交付ができないか、との意見もありました。

制度を整え、早期に実現できるよう望みます。

もう少しで100% ケーブルテレビ



今回整備される松尾地区

今回、特例債を活用して今までケーブルテレビが未整備であった、嬉野町下岩屋の松尾地区にケーブルが延伸されることになりました。

これにより市内の接続可能世帯は全体の99%を超え、ほぼ全世帯に接続されることとなります。

現在では市の行政情報の「うれしのほっとステーション」、緊急時の災害や火災情報なども配信されており、ケーブルテレビは非常に重要な役割を担っています。

市内においては防災無

線など、緊急放送をおこなう設備があります。以前から議会で、機器の老朽化により、防災無線としての機能をはたしていないものや、地域によっては無線が入らない地区があるなどの議論がありました。

緊急時の情報をどのように知らせていくかを早急に検討していく必要があります。

また未整備の地域に対しては、地元との協議を進め、嬉野全市民に平等な情報が入手できる環境づくりをしていくことが行政の役目と考えます。

ひとりでも多くの赤ちゃんを



笑顔で子育て奮闘中

今年度新しく、不妊治療の補助金として、1人10万円を最高に、3名分30万円が予算計上されました。

助成金の額は、対外受精または顕微授精に至る治療に要した経費です。

市では、この治療額に対し県からの補助金（15万円）を差し引き、その残額と10万円を比較して、少ないほうの額を助成します。

これは不妊治療を受けている夫婦の経済的および精神的負担を軽減し、ひとりでも多くの赤ちゃんが誕生することを願います。

この制度を利用して、ひとりでも多くの赤ちゃんが誕生することを願います。

少子化対策の充実をはかることを目的とするものです。

助成対象者は、「婚姻の届出をおこなった夫婦」であること、また、対外受精または顕微授精以外に妊娠が望めないと医師に診断されている人、「夫または妻のいずれか一方が、本市に1年以上住所を有している人」が対象となります。

売りあげ増に期待 「うれしの茶」PR事業

平成21年度全国・九州茶品評会において、「蒸製玉緑茶」「釜炒製玉緑茶」の部門で、最高賞である農林水産大臣賞を、また産地部門では「産地賞」を受賞し、全国に高品質「うれしの茶」の存在をアピールできました。今回の受賞を期に生産



うれしの茶を消費者にPR（昨年の福岡市での佐賀観光フェア）

者や地元茶商の方々に、テレビ、新聞広告、イベント、見本市、入れた教室、試飲会などを利用して、さらなるPR活動を開催していただき、安全・安心で良質な「うれしの茶」の需要拡大を、よりいっそうめざすため500万円の予算が計上されました。

「茶」に対してはほかに、嬉野茶販売拡大事業やPR茶製造などもあり、また、農業から観光業まで含めた幅広いPR事業も観光協会などに委託されています。また、農業から観光業まで含めた幅広いPR事業も観光協会などに委託されています。また、農業から観光業まで含めた幅広いPR事業も観光協会などに委託されています。

「美肌の湯」を国内へ海外へ

本市の基幹産業である観光業が、厳しい状況におかれていることから、誘客対策をおこなってききました。

平成21年度においては、「美肌の湯」を活用した誘客キャンペーンやスタンプラリーの実施、広告掲載などをおこない、また、「シーボルトの湯」のオープン告知もおこな



おもてなしの心を発信（うれしの観光ポスターより）

なってきました。海外に向けては、韓国向けのPR活動をおこなっていました。本年度においては、昨年度の取り組みをさらに拡大、向上させ、観光客の増加と市内の活性化をはかりました。

具体的には、大阪や広島を中心に知名度向上と誘客増加に向けてキャンペーンなどを実施する予定です。また、海外では上海を中心とした説明会や商談会も実施する予定です。市内の取り組みとしては、観光従事者の意識向上とマナーアップをはかるため、研修会の開催や市内観光の強化策として、観光ガイドの育成や活用にも努めます。

接続率83パーでも赤字運営

現在、塩田町においては、五町田・谷所地区で管路の埋設工事や最終処理施設の建設工事が進められています。

現在、塩田町の農業集落排水事業においては、接続可能な戸数927戸に対して769戸が接続されており、83パーの接続率になっています。

また美野地区においては、接続率は100パーに近い状況ですが収入（使用料）759万2、000円で施設管理費は1、025万円となり、26万5千800円の赤字で運営されている現状があります。



建設が進む五町田、谷所地区の農排処理場

市内では公共下水道事業も同時に進められており、これから嬉野市全体を見渡した下水道事業をどう進めていくのか、23年度を目的に計画が策定される予定です。それぞれの地区に最適な処理施設の計画や、赤字である農業集落排水事業の料金体制についても維持管理費は使用料でまかなえるよう、早急に議論を進めていくべきです。

公共下水道接続で付加価値を高める

第八区画整理事業内の公共下水道事業認可（20万円）に向けて、766万の予算が計上になりました。

本来なら下流側より施工すべきですが、当初予定していた区域内を、西九州新幹線の軌道が通ることになり、その工事を受ける影響の範囲が想定しにくく、下井手橋より上流の区域となりました。新幹線工事終了後、速やかに新幹線駅方面へ施



公共下水道認可申請予定の第八土地区画整理事業内

工する計画です。第七区画整理事業の区域は公共下水道の管路が、整理事業と平行して施工されたため、全区域に管路と公共マスが設置されています。

地理的な条件もありませんが、第七区画においては多くの家屋が建てられており、第八区画との差が見えます。

いずれにしても、第八区画整理事業内の、早期の公共下水道化が待たれるところです。現在21年度の公共下水道事業の収支では、収入

（使用料・加入金）4、053万円、支出（管理費）3、460万円で赤字となる予定です。現在処理場では、第2処理槽の建設が進められています。

処理槽が完成した後の収入と管理費のバランスを考えれば、現在の接続可能戸数2、224戸に対して、39・48パーの接続率は低いのではと考えられます。多くの市民が接続していただくよう、行政のさらなる説明や努力を求めます。

ここまで当初予算

受診率向上をめざして

平成21年6月に、国の経済危機対策の「子育て教育支援」の一環として「女性特有のガン検診推進事業」が実施されました。

平成21年度に引き続き国内のガン検診受診率を50%に上げることを目標として、実施されるものです。

具体的には、対象女性の方々に「ガン検診無料クーポン券」を配布し、「子宮頸がん」「乳がん」検診を無料で受けていただくことができます。

対象者は、平成22年4月20日現在、嬉野市に住民票がある方となります。検診については、集団検診または、市が委託する医療機関での個別検診ができますので、自分の都合に合わせて受診することが可能になります。

21年度の嬉野市の受診率は27%で、残念ながら多くの対象者の皆さんが受診されていません。

市民の女性の方々が、明るく健康で、幸せな生活ができるように、女性特有のガン検診を受けていただくことをお勧めします。



受けようがん検診を！

3月補正予算

地元の業者が元気になるように

国の21年度第2次補正予算において嬉野市に交付された、きめ細やかな臨時交付金は、総額1億4,350万円です。

この交付金は、地元業者が元気になるように使われ、市道の維持修繕や公会堂UD化工事など9事業が全て22年度に繰越実施されます。

主な事業として、嬉野市体育館の、バリアフリー化を推進するためのトイレ改修に2,000万円。

みゆき球場、内野改修に2,300万円。

市道修繕に2,800万円。

和泉式部公園、草スキー場マット張替えに2,200万円などです。

これまで、歳出削減で取り組めなかつた事業をおこなうわけですが、みゆき球場に関しては、以前から高校野球連盟や、キャンプをされている大野原小学校より改修が指摘されており、利用率向上を目指して、別の予算でも早期の改修が必要だと思われれます。

また、市道の修繕については市民の要望が多く、安心安全のためにも早急な整備が求められます。



子ども達が楽しく遊べるように (和泉式部公園)

住民の足を守れ

今回、補正予算で、上久間線・下吉田線・三間坂線のバス運行赤字補填として255万円増額され、062万円となりました。

また、嬉野線・吉田線・祐徳線は130万円増額され813万円となりました。

現在嬉野市内においては、春日線、大野原線、上久間線で、路線バスの代わりに、乗り合いタクシーでの実証運行が始まっていますが、利用者の数が伸び悩んでおり、赤字は増え続ける傾向にあります。

下吉田線や不動山線については、現在運行して



子ども達の通学にも利用されている 祐徳バス

いる事業者が、路線から撤退したいとの意向を持つておられ、小中学生の通学の足も心配されます。

市では地域公共交通活性化協議会を設置して、嬉野全体を見まわした交通体系(循環バスなども含めた)の見直しをおこなっていますが、早急な計画と実施が望まれます。

高齢化社会を迎えた今、交通弱者に配慮したコース(病院や商店街など)や、運行時間の設定など、利便性を上げる施策をおこなうことにより、利用者を増やし、赤字を減らす努力が必要です。

子ども達の安全を守る 耐震補強



築42年の大野原小中学校

3月補正で、大野原小中学校と、大草野小学校の耐震補強工費が、計上となりました。

大野原小中学校の工費は9,543万円、大草野小学校の工費は9,743万円で、合計1億9,287万円です。

工事は基本的に、夏休み期間を利用した施工となりますが、9~10月も施工されます。

工事の内容によっては、

子ども達を空き教室に移動させ、授業に影響がないよう十分な配慮をしながらおこなわれる予定です。

なお、子ども達や保護者、そして地域の皆さんには、不自由をおかけするわけですが、子ども達の、安心安全を確保するための工事ですので、ご理解とご協力をお願いします。

討論

副市長人事 反対

独断専行の提案に 怒りが爆発すると予想

平野 昭義 議員

合併から4年間、谷口市長は「両町の融和と歓声が聞こえる街づくり」を叫ばれ、塩田町民は2期目の市政運営に期待してきた。

今回、嬉野より副市長人事の選考を提案されたが、日頃からの市長の発言とは矛盾する。

現在、市長・教育長は嬉野出身。

塩田町民に打診することもなく、一方的な提案は、塩田町を侮辱した態度と言える。

全国で2町合併の誕生は多くあるが、市の三役などの人事はバランスを取り、市民が納得のいく融和に配慮した人事がおこなわれている。

独断専行の提案に、塩田町民の怒りが充満し、今後爆発すると予測される。

副市長空席と、部長制廃止などを含め議論していくべきではないか。

市民が納得しない提案には断固反対する。

嬉野市から国へ意見書

選択的夫婦別性制度の拙速な導入に反対する意見書

政府は、男女が婚姻時に同性か別姓を選ぶ「選択的夫婦別性制度」の導入の動きを見せている。これは、婚姻によって姓を改めることによる、社会生活上の不利益・不都合を解消するという意見があるものの、長年にわたって培われたわが国の伝統や、婚姻の意義の希薄化など様々な問題も抱えている。

国民の間で十分な議論がなされないまま法制化されれば、婚姻制度や家族のあり方に重大な影響を及ぼし、社会的混乱を招く恐れがあるといわざるをえない。

よって本議会は選択的夫婦別性制度の拙速な法制化に断固反対する。

幼児教育の無償化と保育サービスの充実を求める意見書

全ての子どもたちに質の高い幼児教育の機会を、保証することが求められる。

① 幼児教育無償化に取り組むこと。
② 仕事と子育ての両立ができる社会の実現に取り組むこと。
③ 待機児童解消に努める自治体の創意工夫を、最大限生かせるよう支援のあり方を検討すること。

よって、国会及び政府においては、次の事項の実現に努めることを強く求める。

生産性の高い競争力に富んだ農家の育成を求める意見書

コメの戸別所得補償制度は、米作農家全てを対象で期待がある一方、米作が優先されるため麦・大豆など多様な作物の自給力向上にはつながらず、果樹や畜産などの多様な農業の発展にも支障を及ぼすおそれもある。

よって、生産性の高い競争力に富んだ農家を育成するよう強く求める。

核兵器の廃絶と恒久平和実現に関する意見書

核兵器を廃絶し、原子力を平和利用にとどめて、恒久平和を実現することは私たち被爆国民の悲願である。

2000年の核拡散防止条約(NPT)再検討会議で、全面的な核廃絶を約束したはずが、2005年の会議では実質的合意ができず、核軍縮はもとより核の拡散防止体制そのものが、危機的状況にあるといえる。

先ごろ開かれた国連安保理の首脳会合では、核兵器のない世界を目標とする決議が採択された。被爆65周年を迎える2010年に開催される(NPT)再検討会議で、実効ある核兵器廃絶が合意されるべく、わが国政府が国際的な核軍縮・不拡散の実現に、積極的な役割を果たすよう、強く要請する。

議会に届ける市民の声

市民の声を市政へ反映させ、諸問題の解決や実現のため、今議会へも陳情4件がだされました。陳情の主旨については全議員へ報告されました。

保険でより良い歯科医療を求める

陳情者 佐賀県保健医協会
会長 藤戸 好典

私立幼稚園就園奨励費助成の維持・確保について(要望)

陳情者 社団法人佐賀県私立幼稚園連合会
会長 副島 正幸
鹿島・嬉野・藤津地区私立幼稚園連合会
会長 マレルバ・ロレンツォ

改正賃金業法の早期完全施行等を求める

陳情者 全国青年司法書士協議会
会長 小山田 泰彦

選択的夫婦別性制度の法制化に反対する意見書の提出を求める

陳情者 日本の子供の未来を守る会支部
稲永 恵子

賛否表

議案	結果	番号	議員																
			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
嬉野市定住促進条例の一部を改正する条例について	可決	17・0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
嬉野市標準小作料設定協議会条例の廃止について	可決	17・0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
平成21年度嬉野市一般会計補正予算(第7号)	可決	17・0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
平成22年度嬉野市一般会計予算	可決	16・1	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
平成22年度嬉野温泉公衆浴場施設特別会計予算	可決	17・0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
平成22年度嬉野市水道事業会計予算	可決	17・0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
嬉野市副市長の選任について	可決	10・7	○	○		○												○	
選択的夫婦別性制度の拙速な導入に反対する意見書	可決	15・2	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	

○は賛成 〇は反対

市長と議員が真剣勝負

一般質問に 新人4人含む16人がいどむ



織田 市長1期目の4年間。

市長 厳しい中にも積極的な施策が展開できた。短期では、志田焼の里博物館整備や市道の整備補修などに取り組んだ。中期では塩田津の整備・農業集落排水施設の整備・水道施設整備などを取り組んでいる。

市政に対する政治姿勢は

織田 菊男 議員

答 総合計画を基に進める

織田 2期目の方針は。市長 行財政改革を徹底しながら、財政の面では経常収支比率の改善に努めつつ、長期的な財政計画を視野に、慎重な財政運営が必要と考える。体育館建設は、概略の設計の予算を積み立てたのち実施設計になるので、今年度の事業着工はむずかしい。

織田 塩田中学校建設については、合併特例債を利用して建設したいが、合併後10年以内に完成しなくてはならない、残りはあと6年なので時間としては、ギリギリと考える。平地地農業について

はと考えるが、生産者がある程度責任をもって販売も取り組まなければならぬと言われている。今後の方針としては、まず、現在ある特産品の品質向上に努力することが必要である。



集落営農での麦作付

織田 平地地農業は厳しさを増している。国の農政は個別所得補償制度がおこなわれる。市長は、嬉野市農業に對してどう考えられるか。市長 情報を収集・伝達しながら対応し、農家の立場での施策を推進する。今後は、個々の農家の経営努力に左右される農政になると考えられ、集落営農組織が生かされる形で、組織としての影響はあまり出てこないのでは。

市長 馬場下地区などでは、「稲わら」の焼却をやめて全量すきこみ処理をしていただいている。また、肥料・農薬の利用も記録され、消費者が安心して農産物の生産に努力をいただいている。環境保全型についても、いろいろな受け取り方があり、基本的な基礎的知識などを研修会などで十分受けてもらう必要がある。そういうところもしっかりやっていきたい。



山下 嬉野町長時代から通算5期目の当選だが、今回も無投票のため選挙公報などもなく、市民にとっては、その方針も聞けなかった。

嬉野は主産業を中心に大変厳しい状況にある。市民を引っ張ってこの状況から脱却するために市長としてのビジョンと任期に懸ける決意を示せ。市長 初心忘れず、全力投球で市民の期待に答えたい。

今回、4つの柱を掲げて臨む。
①観光客200万人達成
②安心嬉野づくり
③嬉野ブランドづくり
④小さな市役所、信頼される市役所づくり
以上の実現に向けて努力する。

山下 今任期を大成として臨むのか、継続か。

2期目に懸ける市長のビジョンを問う

山下 芳郎 議員

答 4つの柱を掲げ全力で努力する

市長 常に最終年度として臨むので、今回もこの4年間で最終年度と捉えている。

山下 「歓声の聞こえる嬉野市」のキャッチフレーズが、現場には伝わって来ない。市長の認識はどうか。

市長 合併の課題を自身身がまず理解して、その考えを市職員から市民に伝えるよう努力する。山下 具体的な浸透方法を示せ。

市長 両町の融和をはかりながら、それぞれの団体が統合に向けて努力してきた。そのためには市も支援していく。地域コミュニティの展開

山下 地域コミュニティが吉田、大草野、久間の3地区でモデル地区から正式に稼働したが、



元気に育て！

今日の進捗状況および今後の方向性を示せ。

市長 すぐ形としては見えにくいものがあるが、ぜひ成功させたい。6月から轟・大野原校区、五町田校区で本稼働したい。

山下 最初のモデル地区に時間をかけ、住民の理解が得られるよう浸透を

はかるべきであり、そのためにはあとの展開を延ばすべきではないか。市長 決して急ぐことはないが、区長会とも十分協議して住民の理解を得られるよう努力する。

その他質問

市職員の提案制度について

建設竣工年度を示せ

平野 昭義 議員



答 答申を尊重し早い時期に予算計上する

あり、現在の場所として

市長 報告書を尊重し期限を設定、全面改築で早急に取り組んでいく。

企業誘致と人口増対策

平野 社会文化体育館建設問題は合併協議会の確認事項である。

推進協議会から提出された設計案と竣工年度を示せ。

市長 意見書を頂いているので、早く取りかかるよう準備する。

平野 報告書は建設場所を町の中心部としてある。

市長 意見書に書いてある通りと理解している。

平野 学校施設検討委員会の報告書は建設場所について塩田町民の総意で

誘致のための造成計画と人口増対策促進を積極的に取り組め。

市長 予定している地区民の皆さんのご理解を頂いている段階である。

雇用情勢を克服するために、企業誘致に努力していく。

平野 温泉街は、今日、死活問題と捉え関係者はゼロからのスタートで再構築にあらゆる努力に全力で取り組むべきだ。

市長 バブル崩壊以降低

温泉組合など意識改革を

平野 温泉街は、今日、死活問題と捉え関係者はゼロからのスタートで再構築にあらゆる努力に全力で取り組むべきだ。

市長 バブル崩壊以降低

建設を急げ

西村 信夫 議員

答 早期に取りかかる

「農業の大転換」

西村 米戸別所得補償制度モデル事業とは。

市長 米の生産数量目標に即した生産をおこなった販売農家や水稲共済加入者、21年出荷販売実績のある方に支給される制度で、交付単価は10ヶ当たり一律1万5,000円支給される。

また米価が下落した場合の変動部分にも補填される。

西村 市内の交付額は、**市長** 2、398戸に9、768万円の見込みである。

西村 水田活用自給力向上事業の仕組みは。

市長 水田で作る麦、大豆、飼料作物に10ヶ当たり3万5,000円、米粉用米、飼料用米に8万円、加工用米2万円、その他の作物に1万円、また二毛作助成に1万5,000円が支払われる。

西村 麦、大豆の作付けに適した、排水の良好な圃場整備を進める必要があると思うが。

市長 県と協議している。

生産農家に事業内容の周知徹底をはかるべきと考えるが。

市長 水田農業推進協議会の配分会議で説明を予定している。

西村 上久間線、春日線、大野原線が廃止になり、乗り合いタクシーが運行されているが現状は。

市長 上久間線が1年間で利用者902人、欠損が180万円、春日線4ヶ月間で943人、欠損が138万円、大野原線

西村 祐徳バス下吉田線、JRバス不動山線は撤退の申し入れがあっているが、地域の足を守る立場で、補助金活用による赤字の一部補填も提案し協議していく。

西村 大野原線の平重までの延伸を求める声について。

企画部長 需要調査をしている。

が4ヶ月間で292人、欠損57万円になっている。

西村 今後、赤字路線廃止の申し入れがあっているバス路線は。

企画部長 祐徳バス下吉田線、JRバス不動山線は撤退の申し入れがあっているが、地域の足を守る立場で、補助金活用による赤字の一部補填も提案し協議していく。

西村 大野原線の平重までの延伸を求める声について。

企画部長 需要調査をしている。



守りたい市民の足 JR 不動山線

社会文化体育館

迷傾向が続いている。

お客の予約スタイルの変化で、ネット予約が急増し、旅館の個性が第一に要求されている。

嬉野市の発展と課題

平野 農業、漁業、商業、観光業などが一体となって鹿島・藤津との基盤を築くために、県西南部の合併は避けて通れないと考える、実現に向けて努力すべきだ。

市長 近隣市町との連携は強化していきたい。

域に活用して頂くために連携を深めていく。

平野 伊万里市は4月から【婚活推進課】が新設されたが、本市も家族や地域の崩壊をさせないために、積極的に取り組むべきではないか。

市長 以前にも結婚推進制度を創設し、推進委員も誕生させたが成果が上からなかった。

伊万里市とも交流をしていきたいと考えている。

未婚の男女に結婚推進を

平野 武道場の記事が載っていたがどう思う。

市長 一面だけでは使い勝手が非常に悪いと思う。

神近 中途半端な武道場ならいらない。

中学校を移転して、現在の体育館を武道場として利用すべきだ。

施設検討委員会の答申は、建設についてだけ考えればいいのか。

市長 建設するという基本的なこと、大まかな場所、希望される施設などについて意見をいただきたいと受け取っている。

これから、財政やスペース、年間維持費を考えた基本設計をおこなう。

神近 答申内容は、体育館と文化施設が一体化として計画されている。

興行などの営業ができないので、年間100万円程度の収入と思う。

年間3,000万円以上の赤字では

神近 勝彦 議員

答 これから基本設計をおこなう

しかし、維持管理費は3千万円以上かかると思える。

耐用年数の50年間、毎年3千万円以上の赤字だ。そのことを十分考えるべきだ。

合併特例債での建設では、興行など収益事業ができないことを委員や市民の方は知っているのか。

市長 委員の方は理解されていると考える。

塩田中は安全な場所か

神近 市長は教育委員会からの答申を受け、現在地で建設する方針のようだが、学校問題特別委員会では、安全な場所にとの報告であった。

現在地は安全な場所か

市長 具体的に検討はしていないが、当地区でとれる範囲の安全策を検討したい。



江北町にあるネーブル

教育長 災害時も含め安全性が確保され、学校で生活できるよう嵩上げの意見もでている。

神近 基礎の部分を高上げすれば、周辺の町部の浸水が増える。

それでもいいと考えているのか。

教育部長 周辺地区の住民の方々に説明する必要がある。

神近 浸水によって中学校が孤立するような状況が今後50年間続く。

また、塩田小の改築も五町田・久間小の改築もある。

30年、50年先を見据えた場所を考えるべきだ。

市長 過去の歴史とか十分配慮しながら計画を練りたい。



早期実現が望まれる社会文化体育館



中川通りの整備はどうする

山口 要議員

答 次年度以降に取り組み

山口 古湯温泉が開業するなかで、駐車場までの街路として、早急に中川通りの整備をはかっているべきではないか。

市長 現在、整備を検討しており、次年度以降に取り組みをしていく。

山口 また、周辺街路として、川沿いの遊歩道の整備も同様だ。

市長 鹿島土木にぜひ検討するよう依頼したい。



どう変わる、中川通り

観光振興策に積極的に取り組む

山口 旅館が地域に及ぼす波及効果も含めて、観光の及ぼす影響は極めて大きいものがある。観光振興に、より力を注ぐべきではないか。

市長 旅館については、観光娯野を支えている大切な地域資源として考えている。

様々な施策どうする

山口 「障害」の標記では、障がい者団体などが見直しを求めるケースが相次いでいるが、本市でも見直すべきではないか。

市長 次回の議会で広報予算を組みたい。

セブンイレブンは

山口 関係団体などの意見も参考にして、ぜひ取り組みを進めたい。

市長 セブンイレブンは店内の複合機を使い、住民票の写しや、印鑑登録証明書を受け取れるサービスを始めたが、本市でも検討してはどうか。

市長 今後、電算センターと協議をしたい。

山口 他人が吸うたばこ

煙にさらされる「受動喫煙」を防ぐため、厚労省は公共的な施設に対し、建物内での全面禁煙実施を求める通知をだすという。本市では、今後どう取り組む考えか。

市長 現在、市内の公園については実施している。公共施設についても取り組みを始めたい。

商店街にも企業誘致をできないか

小田 寛之 議員

答 大小を問わず進出をしていただければ



小田 嬉野市でも雇用の場の創出や税収増への期待をし、さまざまな努力をされてきたと思う。しかしながら経済が非常に冷え込んでいるなか、自動車関連企業など、物を生産する工場の誘致に

下水道整備事業

小田 嬉野市内の下水道整備は塩田地区では農業集落排水、嬉野地区では公共下水道の方法で整備が進んでいる。未整備地区は今後どうする。

市長 今の計画自体が平成23年度を一つのめどに動いている。

商店街の活性化

嬉野町商店街の駐車場を早急に整備すべきだ

梶原 睦也 議員

答 市として支援していく

梶原 商店街へ買い物に行く時、車はどこに止めればいいのかと考えるか。

市長 市体育館横の市営駐車場をご利用いただいている。

梶原 商店街に駐車場がなければ、どうしても駐車場が整った大型店に客は流れてしまう。

個人商店の中には、大型店にはない良い商品が

沢山あるが、駐車場不足により、客の減少につながっている。実情は、駐車違反を恐れながら、商店の前に車を止めて買い物をされている。駐車違反などについて

様々な形での駐車場の対応をすべきだ

梶原 様々な形での駐車場の対応をすべきだ。たとえば既存の市営駐車場に、コイン式の鍵がついた無料レンタサイクルを配備するなどの対策も有効と考える。

市長 市営駐車場の周辺に、団体として自転車を置きたいという話があれば協議は十分できる。

梶原 一日も早く利便性の高い市営駐車場の整備をすべきだ。

ば立体駐車場にするなど早急な対応を求める。

市長 商店街の活性化については日ごろから考えている。できる限りの支援をできる限りの支援をする。今、介護の現場は

高年齢化が進み、今後、介護の問題はますます深刻になる。

梶原 介護施設への入所も困難な状況だが、現状と対策についてうかがう。

福祉課長 介護施設への待機者は本市で270名、緊急を要する方が44名となっている。

市長 施設についてはこれから充実させていく。地域を作っていたら、ただ大先輩たちが高齢者の方々であり、できる限りのことはさせていたいただきたい。



「にぎわい」をとり戻したい商店街

計画ができていないところも、新しい方式をどうのよかな形でつくっていくのか、その計画をまずつくっていききたい。

小田 整備されている地区と整備されていない地区というのは格差が生じている状況だ。財政面を十分に配慮したうえで未整備地区の方向性をなるべく早く進めてもらいたい。

環境下水道課長 工事中を含め接続可能戸数約6,400戸で、全世帯数9,847戸に対して約65%である。

小田 未整備地区は集合処理なのか、合併浄化槽なのか、手法により個人負担に格差がないような方法でやってもらいたい。

市長 そういう方向で検討しなくてはならないと思う。

その他質問

整備計画がある戸数は、市内全部の世帯からすればどのくらいの割合になるのか。

● 観光問題について



買い物するにも駐車場がない!

今後の教育環境問題は

田口 好秋 議員

答 今後の動向を見ながら
対処する



田口 嬉野市全体の今後の教育環境問題は。

市長 少子化に伴い市内全体の教育環境の見直しが必要になる。

塩田地区の学校施設の更新については急が必要があり、改築などもあわせ検討する。

教育長 中・長期的な視点で市内の学校建設や通学区などについて、協議会を立ち上げ、一定の方向を出していく必要があると考えている。

しかし、文部科学副大臣の発言の中で、学級定数の見直し発言など

現時点では不透明な点があり、今後の動向を見極めながら対処していく。

田口 合併後、耐震診断の結果が問題となった塩田中学校の改築は。

市長 合併特例債を利用して、平成26年から27年に完成させたい。

場所は現在の中学校敷地を対象として検討している。

中学校と小学校の連携についても各地で取組みが始まっており、教育効果も上がっていると聞いている。

教育委員会も肯定した方向なので取り組みたい。教育長 塩田中学校の改築については、教育委員会として最も現実的な提言書を市長に提出している。

田口 前回の耐震診断で

子ども・教育

ぶらっと横の職員用
駐車場はごっつなる

大野原中、大草野小、塩田小それぞれ補強工事が必要との結果が出た。2校については21年度補正予算で約2億円の工事費が計上されたが、残る塩田小学校の方向性は、市長 塩田小の耐震補強については検討していく。将来的な少子化の進行予測や、塩田地区の小学校の人員の動向を見ながら検討する必要がある。教育長 市長と同じ意見である。

田口 社会文化体育館の建設場所は、プラット横の職員駐車場の所にした。この答弁をされたが、あの駐車場をつぶした場合、今後どうなるのか。市長 現在職員駐車場は2箇所ある。職員はほとんどプラット横を使っている。ここに建設となれば、職員の人数の問題などあるが、配置の問題などを含め検討していく。



田口 少子化対策としての子ども手当では効果があると考えるか。

市長 子ども手当で全てが解決するわけではない。子どもを育てる環境を整えることを望みたい。

田口 子ども手当を優先的に給食費や保育料に充てることはできないか。

市長 先般、全国市長会の席でもこの問題は取り上げられ、国に対して要望書を出すことになった。公費で手当を支給する

ので、保護者にも負担する分は負担するという真摯な取り組みを期待する。学校のケーブルテレビの接続状況は

田口 轟小・嬉野中にはケーブルテレビが接続されていないが、市内の他の学校はどういう状況か。

校区再編はどうする

辻 浩一 議員

答 避けて通れない課題である



辻 中学校などの改築に際し校区再編を考えているのであれば、関係者への早めの説明が必要ではないか。

市長 基本的にはすべて地域の方にご理解をいただくために、情報を提供



塩田小学校校舎

しながら、話し合いをさせていただくという手順を、しっかりとやっていきたい。

教育長 義務教育の9年間というスパンの中で教育効果を考えると、この問題は避けて通れない課題ではないかと認識する。

辻 市長は歓声の聞こえる街づくりを掲げてこられた。

私は子育て世代に仕事のあることが、歓声の聞こえる街づくりにつながると思う。

経済対策の過去4年の

総括と今後の展望をうかがう。

市長 国・県の施策に呼応して、厳しい中にも積極的に施策を展開し、市の融資制度の利用促進や制度の改善により、経営支援をおこなってきた。

企業誘致は県と連携を取り推進しているが、現在の景気低迷の中、成約にはいたっていない。

辻 市民の皆様は企業誘致を熱望されているが、現在の企業誘致課の活動は。

企業誘致課長 職員1人

を県の企業立地課に派遣しており、また企業進出の情報のある地域へ出向き、誘致活動をおこなっている。

辻 企業誘致をおこなう場合、オーダーメイド方式だと早い段階での情報収集が必要ではないか。

企業誘致課長 オーダーメイド方式で対応する場合、情報の早期収集は必要と考える。

ただ久間中地区では、オーダーメイド方式の考えは無く、まず話し合いをさせていただいている状況である。

情報の伝達は万全か

辻 社会体育館に関するリーディング事業の進捗情報は、市民に十分伝わったと思うか。

市長 リーディング審議会には、一般からも入っておられるし、それぞれの団体からもご協力いただきながら進めている。ただ情報が十分でない方にはきちんとお伝えするようにしたい。

「子ども手当て」は給食費・保育料に充当できないか

山口 忠孝 議員

答 市長会でも国へ要望書を出した

市長 あと4校が接続されているが、それは各学校の判断に委ねている。今年度は、大野原小・中学校が接続を希望されている。

田口 武雄市では無料で、小・中学校に接続されていると聞くが、本市でも同じような対応・交渉ができないか。

市長 武雄の旧市内においては無料だが、北方・山内は有料だそうだ。

「教育の日」の開催日について

田口 小・中学校一斉におこなうと、バザーや行事と重なって、親も子どもも行き来ができなくなる。

教育長 そういう声も耳にしたので、実施時期を11月から12月に移した。検討の余地もあり、一



元気に遊ぶ子供達

応研究はさせてもらう。社会体育館と塩田中学校改築はどちらが優先かならどちらか。

市長 緊急度から言えば、子ども達の学びの場所でもあり中学校と考える。

しかし、社会体育館建設も以前からの課題であり、同時期に解決できればと考える。田口 合併してから4年が経過するが、世の中の経済情勢も大きく変化してきた。嬉野市にとって、何が大切なのかよく考えてもらいたい、もう塩田町民も嬉野町民もない、我々は嬉野市民なのだ。



ぶらっと横にある職員駐車場



住宅団地開発の業者への支援は

副島 孝裕 議員

答 財政的面も含め検討したい

副島 少子高齢化が予想以上の速さで進むなか、今後人口はどのように推移すると考えているか。また、その具体的施策は。

市長 合併時の目標値である平成29年には、2万8,800人を割込むものとして予想している。

毎年住環境の整備や保健福祉政策の充実、子育て関連の予算をお願いし

実行しており、今議会には不妊治療関係の予算をお願いし、子どもが産みやすい環境整備を目指している。

副島 特に人口減少が進む吉田地区、久間地区の対応は。

市長 吉田地区については住環境の整備、特に下水道の整備が遅れているので、間もなく計画を作

成し取り組みたい。また、公共住宅の建替えが手つかずになっており、以前の整備計画もあるので、できるだけ取り組みを進めていきたい。

久間地区は、近隣市町との関係もあり、住宅団地の開発を視野に入れていくが、まず中通地区での工業団地整備を一步進めていきたい。

かかった、再度研究をしてみたい。

副島 毎年3月は学校の卒業があり、多くの転出があるが、人口減少の歯止めとして、進学のため転出された方が、卒業後嬉野市へ戻ってきた場合優遇措置をするリターン奨学資金貸付制度は考えられないか。

市長 新しい発想であり研究はしてみたいが、全体的予算の枠や、今の奨学金制度の兼ね合いもあり、じっくり研究してみたい。



波佐見にあるキヤノン工場

副島 住宅団地を開発する業者が意欲を持って取り組みができる制度は考えられないか。

市長 現在転入奨励金、持ち家奨励金制度の推進をはかっており、業者の方々の支援の方法については、財政面も含めて検討したい。

以前調べた段階では、業者の方の申込みが、近隣地区ではなかったというので、取り組まな

持ちは人口減少の歯止め対策としての奨学金貸与の返還免除と思うが、従来の制度との均衡をはかる視点も十分検討しなくてはならない問題であり、定住化の一つの方法として検討したいと思う。

教育長 人口減少の歯止め対策としての奨学金貸与の返還免除と思うが、従来の制度との均衡をはかる視点も十分検討しなくてはならない問題であり、定住化の一つの方法として検討したいと思う。

中核農家の具体的施策は

山口 政人 議員

答 後継者を育てたい



山口 中核農家は組織のリーダーであるが、その育成の具体的施策は。

市長 後継者への研修などの案内、制度的な支援をしていきたい。

山口 担い手が育って地域が再生する、本市の農

業農村の将来像は。**市長** 販売まで視野に入れた展開をし、農家と流通関係者との交流の場をつくりたい。

山口 市独自の儲かる農業政策をはかるべきじゃないか。

市長 安全・安心の農産物を提供し、流通関係者と一緒に努力する。

農業支援策として「上乗せ」を

山口 戸別所得補償制度で10万円を差し引いて助成があるが、この10万円にも支援できないか。

産業建設課長 市の財政も厳しいので難しい。

山口 高齢化で水田活用用自給率向上対策に取り組めない減反田に対し、支援策はないか。

産業建設課長 今後、検討してみたい。

山口 現在、耕作放棄地はどのくらいか、またその対策は。

市長 個別に当たりながら調整する。

山口 耕作放棄地は、環境保全ということで、国の対策の対象にならない

農業

高齢者対策

草刈などに助成は考えられないか。

産業建設課長 市単独の助成は難しい。

山口 農産物価格の下落で、農業経営を続けていけない農家に対して、行政として何か打つ手はないか。

市長 全面的に支援するのは、行政として厳しい。山口 農村集落が生き残るために、持続的な農業を支援する政策に取り組むべきではないか。

市長 農家の方と協議しながら取り組みたい。

山口 農業公社を設立して高齢者の知識と経験を生かしてはどうか。

市長 経営として成り立つのか、判断が難しい。

市道の整備計画

山口 未舗装の市道は、早急に整備が必要と思うが。

産業建設部長 未舗装の部分については、改良なども含めて検討する。

建設

築城交差点の整備を早急に

大島 恒典 議員

答 整備に向けて検討する



大島 築城交差点の問題については、以前にも質問したが、新幹線嬉野温泉駅を新たな西九州の玄関口と位置付けるためにも、交通安全の面からも早急に整備する必要があると思うが。

市長 この交差点については変速の交差点になっており、以前から交通事故が多発している。以前も拡張などについて検討したが、実現できずにいる。

都市計画道路「下宿大通り線」として計画されている場所でもあり、現在まで実行できていないが、今後担当課において概略の設計に取り組み、整備に向けて検討していく。

みゆき通りについて

大島 みゆき通りの街路樹の高木については、季節により葉が生い茂って街路灯の明かりが歩道まで届きにくい状況にあり、防犯や交通安全の面で問題があると思うが。

市長 みゆき通りの高木については鹿島土木事務所に管理をお願いしている。

街灯や標識が見えにくくなる前の時期に伐採をお願いしている。

大島 高木については植栽間隔を広げることにより、落ち葉問題や安全対策



危険な交差点（築城交差点）

策などが改善されると思われる。

みゆき通りの低木街路樹については、現在茶の木が植えられているが嬉野の玄関口として、夏場の雑草や、今の茶の木の枯れた状態では非常に見苦しい状態である。

担い手として位置づけられている集落営農組織に与える影響は。

市長 全体としては集落営農の活動に影響はないと思っている。

市長 茶の木の植栽については以前から問題が起きており、現在撤去も含めて協議中である。

大島 従来の組織を立ち上げる時より、要件が緩和されていると聞くが、産業建設課長 従来の集落営農とは別に、今回の制度では小さな組織でも取り組めることになる。

農業問題について

大島 戸別所得補償モデル事業について、今迄に

その部分で従来の営農組織が弱体化する懸念もある。



待たれる市道舗装（南志田橋原線）



不動ふれあい体育館を 指定管理者制度に

田中 政司 議員

答 研究していきたい

田中 市が所有する施設については、公共施設ということで、条例や規則により、利用条件に制限が設けられている。施設の設備内容や利用方法によっては、指定管理者制度などを利用することにより、市民にとって、有効活用できる施設もあるのではと考えるが、

市長 地域コミュニティなどが定着すれば、自主運営などで有効活用できるのではと考える。料金などの問題なども含め、十分検討しながら取り組みたい。朝市の開催を計画せよ

田中 県内外の観光地では、地元の特産品や新鮮な農産物を販売する「朝市」が開催され、好評を得ている。本市においても、温泉公園や湯遊広場などを活用しての「朝市」を、市でも計画してはどうか

市長 取り組みを研究していきたい。産地直売店や商店街、旅館などが協力して取り組んでいただければと期待している。

茶の資料館建設は

田中 移動式の足湯施設を製作し、県内外のイベント会場などで嬉野温泉をPRしては。

市長 実現できればと調査した。今後も検討する。

源泉の集中管理は

田中 「嬉茶楽館」周辺に茶資料館や農産物販売所などの施設整備や、轟の滝や大茶樹の周辺整備をはかるため、長期的な

市長 所有者の方々意向確認を進めているが、一斉の確認は得ていない。今後も実現に向け継続して協議を進める。



さらなる有効活用するために（不動ふれあい体育館）

公共施設

シーボルトの名前使用確認は とったか

園田 浩之 議員

答 早く了解をいただいている

園田 今回、公衆浴場に採用された職員の構成は、古湯温泉課長 男性が4名、女性が9名で年齢構成からいくと、50代の方が一番多い。
園田 職員の研修などどのような形で研修をおこなわれたのか。
古湯温泉課長 3月9日に嬉野のホテルで接客の研修をおこない、現場の研修を、武雄温泉株式会社で開館からあとの掃除の手順まですべてを研修させていただいた。
園田 館長、副館長の勤務形態と双方不在の時の対応は。
古湯温泉課長 副館長以下はすべて交代制で、不在の時は我々職員もそのローテーションに入って運営していきたい。
園田 駐車場の問題だが、雨天の場合、お客様への

対応はどうする。
古湯温泉課長 雨天の場合も、基本的に300名の距離をお客様には歩いていただくことになる。
園田 シーボルトの湯と公募で名前が決定したが、長年なれ親しんだ古湯温泉という名称は、今後市はどのように扱われるのか。
古湯温泉課長 我々の立場としてはシーボルトの湯で通していく。
園田 歴史と文化は大切にしたいと常々言っておられること、この古湯という名称を使わないという今回の決定は合わないが、市長は市民にどう説明をされるのか。
市長 シーボルトが嬉野を海外に紹介してくれていたので、歴史的な名前をつけていただいたと思う。
園田 市営の浴場にシー

ボルトの湯」と無断使用してよいのか。
シーボルトの子孫あるいは長崎市・県には使用の確認をとったのか。
市長 長崎の資料館や国内在住のご子孫にも連絡をつけ、直接ご了解を快くいただいている。
園田 嬉野の温泉や風景をこと細かく記してある

シーボルト自身が書いた「江戸参府紀行」の記録や、シーボルトに関する資料を2階に展示する計画はないか。
古湯温泉課長 シーボルト記念館から、資料・データをお借りすることができたので、開館に合わせて、ぜひシーボルトの紹介をやってみたい。

古湯温泉課長 副館長以下はすべて交代制で、不在の時は我々職員もそのローテーションに入って運営していきたい。
園田 駐車場の問題だが、雨天の場合、お客様への

古湯温泉課長 副館長以下はすべて交代制で、不在の時は我々職員もそのローテーションに入って運営していきたい。
園田 市営の浴場にシー



たくさんの来客を望むシーボルトの湯

一般質問って何？

議員が市長や行政側に對して、市政への問題点の提起や改善、提案をおこなうことです。議員は本会議開会日の4日前までに、だれに對してどのようなことを質問するのか、決められた書類（通告書）に書き込み、議長に提出します。議員は本会議場で議長から指名を受け、1回目は議長席の前で質問します。2回目以降は議員席側にある質問席から質問します。議員ひとりの持ち時間は90分で、一問一答方式で、おこないますが、通告書以外の質問は基本的にはできません。

また、有線テレビによる放映があつていますが、放映は一般質問のあつた日の夜と1週間後の午後の2回放映されます。議員ひとりの放映時間は50分打ち切りとなっておりますので質問の途中で切れることがあります。市民の皆様には、議場を傍聴していただき、テレビと違った、議場の雰囲気を感じていただければと思います。

6月定例会日程(案)

平成22年 第2回嬉野市議会会期日程(案)

6月4日	6月5日	6月6日	6月7日	6月8日	6月9日	6月10日	6月11日	6月12日	6月13日	6月14日	6月15日	6月16日	6月17日
金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木
開会				常任委員会	常任委員会	一般質問	一般質問	一般質問			議案質疑	議案質疑	討論・採決・閉会

議長交際費を公表します

交際費支出状況

(平成22年1月1日～平成22年3月31日)
(単位:円)

交際費の項目	件数	支出額
香典	0	0
供花	0	0
御祝	0	0
会費	2	34,000
その他	0	0
計	2	34,000

- ・御祝 公的性格を有する団体への支出
- ・会費 上部団体並びに公的性格を有する団体との協議会費等
- ・その他の内訳

人事

副市長に

同意しました



中島庸二氏（63歳）

嬉野町 温泉2区

監査委員に

同意しました



副島孝裕氏（63歳）

嬉野町 皿屋

やまぼうしの白い花で癒しを 嬉野市森林・林業推進活性化連盟



広川原キャンプ場で植林する議員

嬉野市議会の全議員は、森林・林業活性化推進議員連盟に加入しています。森林の保全や林業の活性化に向けて、毎年開催される九州大会に、数名の議員を派遣しています。今回、議員が積み立ててきた会費で、広川原キャンプ場に「やまぼうし」という種類の樹木を20本植樹しました。「やまぼうし」は、7月の中旬から中旬にかけて白い花を咲かせますので、キャンプ場に来られたお客様に、安らぎと癒しを感じていただければ幸いです。

議会改善度ベスト10

順位	都市名(カッコ内は都道府県)	偏差値
1	京丹後市(京都)	97.9
2	伊賀市(三重)	93.7
3	松本市(長野)	93.0
4	小松島市(徳島)	89.4
5	名寄市(北海道)	88.7
6	栃木市(栃木)	88.4
	大分市(大分)	88.4
8	所沢市(埼玉)	88.1
9	嬉野市(佐賀)	87.7
	宮古市(岩手)	87.7
	会津若松市(福島)	87.7
	流山市(千葉)	87.7

日本経済新聞(2010年4月4日)より

嬉野市議会

全国9位

日本経済新聞社が、全国807の市区議会を対象に、情報公開や運営方法をどれくらい改善しているか、アンケート調査をされ、45項目の回答を偏差値にして順位づけされました。

その結果、嬉野市は全国9位の評価をうけました。

嬉野市議会は昨年度に、議会基本条例や政治倫理

日本経済新聞社が、全国807の市区議会を対象に、情報公開や運営方法をどれくらい改善しているか、アンケート調査をされ、45項目の回答を偏差値にして順位づけされました。

また、市長や執行部に対して「反問権」も認めました。

今後は議員同士の討論会の開催や議会報告会の開催日などについて、議会活性化特別委員会で検討していきます。

新・議会広報特別委員会のメンバー



初めての紙面づくりで奮闘した委員